

# 『論叢国語教育学』執筆規定

2022年7月4日修正

●B5版

●本講座ホームページ上 (<https://home.hiroshima-u.ac.jp/kkgbunka/ronsou/ronsou.html>) の所定のファイルを用いる。

●最初の1ページは、題目・氏名のスペースとして6行分とる。

●文字のフォント・サイズ

- ・ 題目 (MS 明朝体・13P)      ・ 副題 (MS 明朝体・10.5P)      ・ 氏名 (MS 明朝体・10.5P)
- ・ 節名 (MS ゴシック体・9P) …氏名から2行空ける。      ・ 本文 (MS 明朝体・英数字 Times New Roman・9P)
- ・ 図、表 (MS 明朝体・英数字 Times New Roman・8P以上)      ・ 注 (MS 明朝体・英数字 Times New Roman・8P)
- ・ 参考文献 (MS 明朝体・英数字 Times New Roman・9P)      ※本文中、強調のための書体変更は任意

●字数・行数・周囲余白・段組み・行間・注位置など

	横書き	縦書き
字数	原稿用紙40枚(本誌10頁)を目安	
行間	ルビを振った箇所の段落を固定値16~18Ptに設定	
周囲余白	上24mm、下21mm、左右19mm	上24mm、下21mm、左右19mm
組み板	44字×40行	64字×26行
段組み	なし	あり(題目・氏名以降):1行31字/段間8mm
題目	1行目から、センタリング	1行目から、上から全角3文字あける
副題	2行目から、センタリング 前後に全角ハイフンを1つつける	題目の下に詰めてつける 前後に全角ハイフンを1つつける
氏名	・副題がある場合は副題から1行あける ・副題がない場合は題目から2行あける ・右から全角2文字、性と名の間は全角1文字、 各文字の間は半角1文字ずつあける	・題目・副題から2行あける ・下から全角2文字、性と名の間は全角1文字、各 文字の間は半角1文字ずつあける
注	本文末尾(文献一覧がある場合はその前) または各ページ下部	本文末尾(文献一覧がある場合はその前) 脚注機能を使い、注番号は算用数字推奨
ページ番号	必要なし(投稿後に編集委員によって下中央・マージン10mmの位置に挿入)	
所属	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論文末尾に( )内に示す</li> <li>・全角、8p、右揃え(横書き)/下揃え(縦書き)</li> <li>・在学生は4月時点での所属、または修了課程を記す 例:(広島大学大学院博士課程後期3年) ※縦書きの場合、学年は漢数字とする</li> <li>・教員・修了生は4月時点での所属または修了課程を記す 例:(広島大学)、(広島大学附属中・高等学校)、(広島大学大学院博士課程前期修了)</li> </ul>	

●その他

題目が長すぎる場合は、題目/副題含め3行におさめる。

節が変わる場合は、節名の前に一行空ける。その節名に続く本文との間は、行を空けない。